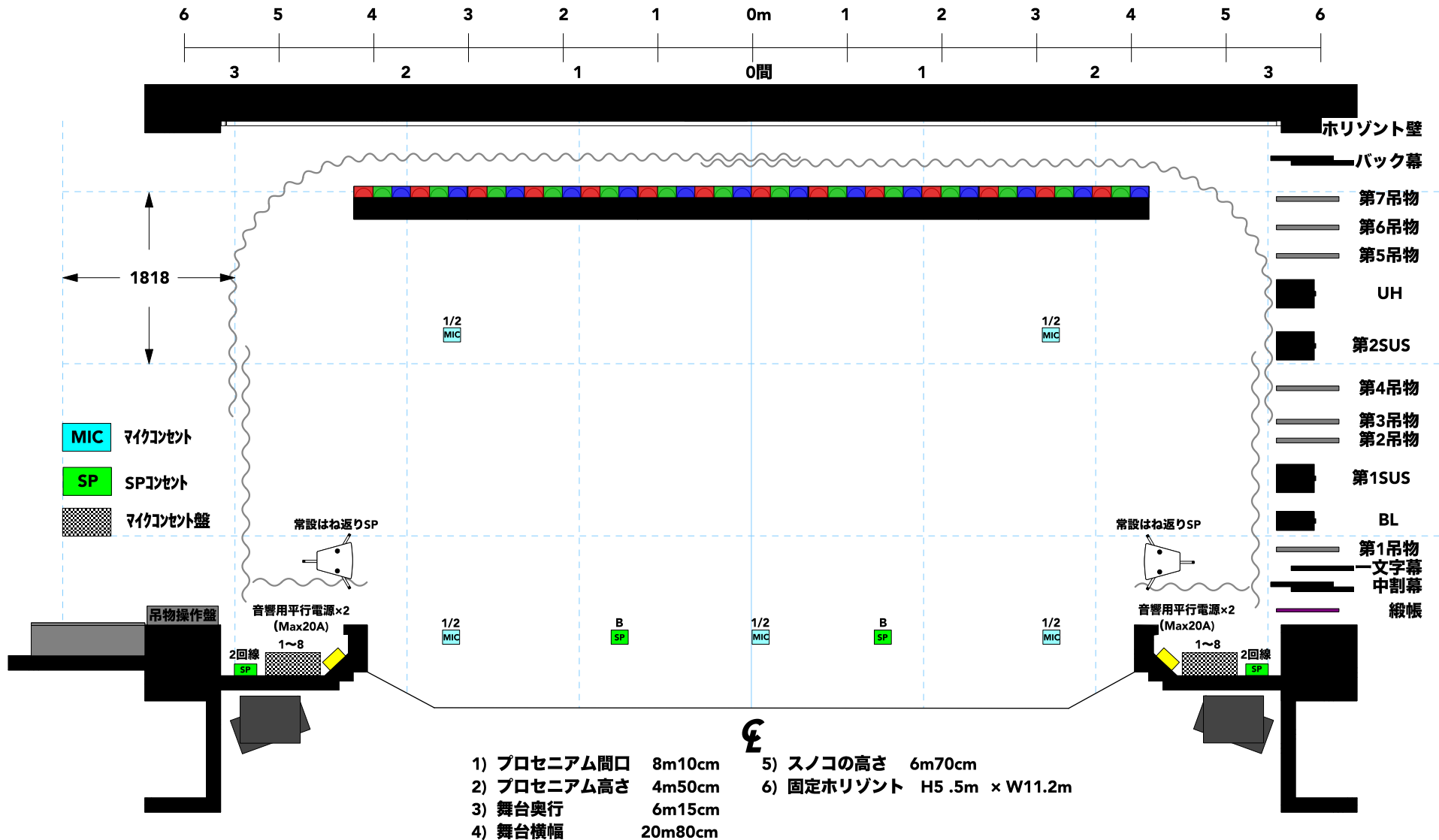


## 小ホール音響回路図



横浜市市民文化会館 関内ホール YOKOHAMA KANNAI HALL

■ 音響設備概要 - 小ホール -

2025.12

メインシステム						単位	1区分使用料	
ミキサー	YAMAHA	M7CL-32	1			1式	¥1,200	
サイドスピーカー	EAW	MK2396	1	Full	※片側			
		SB180zR	1	Sub				
はね返りスピーカー		FR129z	2	スタンド設置				
移動用ミキサー						単位	1区分使用料	
ミキサー	ALLEN&HEATH	ZED12FX	1	6MONO+3ST/3AUX+1ST		1台	¥1,000	
移動用スピーカー						単位	1区分使用料	
スピーカー	YAMAHA	S215V	2	4Ω		1台	¥500	
	Electro-Voice	SX250	2					
再生・録音系デッキ						単位	1区分使用料	
オーディオプレイヤー	TASCAM	SS-R250N	1	音響室 SD/USB 対応		1台	¥1,000	
CDデッキ		CD-RW900SL	1					
		CD-RW901MK II	2	音響室2台				
		CD-500	1					
CD/MDデッキ			MD-CD1	1				
MDデッキ			MD-02	2	AUTO READY/CUE機能無し			
CTRデッキ			202MKV	1				
エフェクト						単位	1区分使用料	
グラフィックイコライザー	YAMAHA	Q2031B	1			1台	¥2,000	
マルチエフェクトプロセッサ		SPX-2000	1					
マイクロフォン						単位	1区分使用料	
ダイナミックマイク	SHURE	BEAT57	4			1本	¥700	
		BEAT58	9					
		SM58	1					
		SM58SE	2					
ワイヤレスマイク ※最大6波 デジタル HDモードで運用		ULXD2/SM58-JB	6	ハンドマイク		1本	¥1,600	
		ULXD1-JB	6	ピンマイク (タイピン型マイク SHURE MX185-X×4)				
※B帯800MHzワイヤレスをお持ち込みの場合は事前にご相談ください。								
コンデンサーマイク	SCHOPS	CMS5-U	2	三点吊りマイク接続用			¥1,000	
マイクスタンド						単位	1区分使用料	
ストレートスタンド	高砂製作所	MF-18TM	6	二段型 (0.8m~1.4m)				
ブームスタンド	K&M	ST-210	10	ブラック、ブーム				
		ST-259	6	ブラック、ショートブーム				
卓上スタンド	高砂製作所	MS-28	6					
	K&M	234B	2					
ケーブル						単位	1区分使用料	
ステージボックス	YAMAHA	SB168-E8	2	専用ラックケース入サ				
8chマルチケーブル	CANARE	8C10-E3	2	10m				
8ch先バラケーブル		8S2N2	1	XLR3-メス×8				
		8S2N1	2	XLR3-オス×8				
8chマルチボックス		8J12N12	2	バラバラ				
16chマルチケーブル		16C30-M2	1	30m				
16ch先バラケーブル		16S2F1	1	XLR-オス×16				
16chマルチボックス		16J12F2	1	マルチコネクター部分オス				
マイクケーブル			各種	5m×5、10m×10、15m×5				
スピーカーケーブル			各種	グレー 3m×2、10m×3、20m×2				
他						単位	1区分使用料	
インターカム	Clear-Cam	常設 調整室2台 (音響・照明) ↔ 舞台下袖1台 ↔ センターピンルーム2台 ※仮設で2台追加可能						
三点吊りマイク装置	HYFAX	3PMLH-30	1	※接続マイクは含みません。コンデンサーマイク2本が必要		1式	¥1,500	
ステレオバー	HYFAX		1	稼働幅100~350mm				
音響電源						単位	1区分使用料	
舞台下手袖 音響電源盤	1φ3W 30C型×4口 MAX10Kw ※1口2.5Kwまで					1Kw	¥200	
	平行電源×2口 MAX1.5Kw							
舞台上手袖 音響電源盤	平行電源×2口 MAX1.5Kw							
客席ミキサー機						単位	1区分使用料	
折りたたみ機	寸法152W×66-96H×50Dcm 耐荷重約67kg			1				
※客席ミキサー機は、音響専用ではなく各セクション共通備品となります。※設置時は劇場スタッフが客席の養生を行います。								

※故障などにより数がそろわない場合もございますので電話等で事前にご相談ください。

■ 音響設備概要 - 共通機材 -

2023.4

移動用スピーカー				
スピーカー	Electro-Voice	SX300	2	フットフィット×2セット

単位	1区分使用料
1台	¥500

マイクロフォン類				
ダイナミックマイク	Electro-Voice	RE20	2	
	SENNHEISER	MD421U	5	
		MD441U	4	
コンデンサーマイク	AKG	C414EB	3	
		C-451B	7	
	AMCRON	PCC160	4	
	SONY	C-38B	5	
ダイレクトボックス	COUNTRYMAN	TYPE-85	2	
	BOSS	DI-1	2	

単位	1区分使用料
1本	¥700
	¥1,000
1台	¥700

マイクスタンド				
ストレートスタンド	高砂製作所	TBS-130	2	
		MF-25T	4	
		MF-34T	3	三段型
卓上スタンド	高砂製作所	MS-445	8	
		MS-10	4	
	SONY	A12	8	
継支柱			4	長さ940mm

単位	1区分使用料

※故障などにより数がそろわない場合もございますのでお電話等で事前にご相談ください。

※共通機材使用について

大ホール・小ホール共通機材のため常時使えるものではありません。事前にご相談をください。

# 高所作業をされる皆様へ安全作業におけるお願い

- 劇場空間で舞台設営時および演出上、高所での作業が必要な場合は、転倒及び落下等の危険がありますので、十分にご注意いただきまして、安全作業を心がけていただきますようお願いいたします。  
なお、当劇場におきまして、高所作業について以下の点に留意いただきますようお願いいたします。
- 労働安全衛生法では、基準となる床面から 2m以上の作業は高所作業と位置付け、墜落制止用器具の着用を義務付けられています。特に 6.75m（約 22 尺）以上の高さにおいては、フルハーネス型の墜落制止用器具の着用が義務付けられています。
- 2m以上 6.75m以下の高所作業においては、胴ベルト型の墜落制止用器具でも法令上問題ないようですが、墜落した際の身体への影響はフルハーネス型に比べて極めて大きいようです。墜落した際、ショックアブソーバ展開分を加えたランヤード（命綱）の長さが落下距離を上回ると、床面への衝突を避けられないため、使用には十分にご注意ください。墜落制止用器具の使用に際しては、落下距離を最小限にするため、ランヤード（命綱）をフッキングするポイントを作業位置よりも高い位置に取ることなどに留意してください。
- 当劇場はヘルメット及び墜落制止用器具の貸出は行なっておりません。  
ご自身の体型、体格に合った物をご持参ください。

## ◆大ホール

①ポータルブリッジ	ヘルメット及びフルハーネス型の墜落制止用器具の着用。
②トーマンタルタワー	原則、ヘルメットの着用。 ※高さ 2m以上に乗る作業においては墜落制止用器具を装着してください。
③脚立	原則、ヘルメットの着用。 ※高さ 2m以上に乗る作業においては墜落制止用器具を装着してください。 転倒防止のため、1 名以上で脚立の補助をしてください。
④スノコ	ヘルメットの着用。 ※不要物のポケットへの収納、落下防止未対策工具の持込は禁止です。

※上記、大ホール①と②と③については、特別教育を修了している事が望ましいです。

## ◆小ホール

① フロントサイドスポット用天板	ヘルメット及び腰ベルト型の墜落制止用器具の着用
② 脚立	原則、ヘルメットの着用。 ※高さ 2m以上に乗る作業においては墜落制止用器具を装着してください。 転倒防止のため、1 名以上で脚立の補助をしてください。

※上記、小ホール①と③については、特別教育を修了している事が望ましいです。



関内ホール  
YOKOHAMA KANNAI HALL